

2024年度 理事・監事研鑽会 報告書

本年度の理事・監事研鑽会を開催しました。

本年の研鑽会では、魅力ある協会活動を実行するために会員会社へ行ったアンケート結果に関する討議を含めて下記4議題について意見交換を行いました。普段十分に話し合うことができてない課題に対して活発に意見交換することができ、理事・監事会社担当間の親睦を深める良い機会となりました。

また、理事・監事会社間の連携を更に深めつつ、引き続き協会活動を創立趣旨である「会員相互の親密な連携を図り、薬事工業及び公共の福祉の増進に寄与する」という目的に則った活動を推進していくことを確認しました。

日時： 2024年10月4日（金） 13:00～17:00

場所： 旅館 立花（熱海市）

参加者： 18名

研鑽内容：

<討議1) 協会主催のセミナー、講演会について>

2024年3～4月に実施したアンケートの結果を踏まえて、現在のセミナー・講演会等の改善の必要性や会員会社にとってより魅力的にする施策について討議し、以下2点について今後取り組んで参ります。

- 会員会社の意向を把握すべくセミナー等のテーマについて定期的（2 或いは3 年毎）にアンケートを実施する。
- 直近としては、GDP や物流倉庫等を情報交換会のテーマにも設けていくことを検討する。

また、静岡県薬事課からのヒアリングへの回答として以下2点をお伝えし、県と協会の連携を深めて参ります。

- 協会が開催するイベントで講師をお願いしたい。例えば、県版のラウンドテーブルのような場を持ち、査察指摘事例について一方的な講義形式ではなく、意見交換（意図するところ・考え方・見方）等を協議できる場があるとよい。
- 採用支援は学生を県内にとどめる取り組みであり有用ではないか。県から県立大学へ、学生が地元企業への就職を意識するよう、働きかけやサポートを頂けるとよい。

<討議2) 及び4) 他協会活動、新たな施策・活動について>

同アンケートの結果を踏まえて、協会による情報の発信や公開、県との連携について討議しました。また、協会内ネットワークの効果的活用について議論しました。引き続き、魅力ある協会活動を実施できるよう検討して参ります。

- 情報公開の要望に対しては、現状十分な情報公開はできていると判断し、追加の施策は行わない。
- 県と個別会社間の取り持ちを期待する要望に対しては、個別要望を協会の総意として対応することは難しく、現状維持とする。ただし、要望は伝えていく。

- 理事・監事会社間のコミュニケーションとしては、積極的に Teams 等を使用していく。理事会社になるメリットについても念頭に置きながらコミュニケーションを図っていく。

<討議 3) 2023 年度理事・監事研鑽会からの残課題について>

- 本年 1 月から 3 月にかけて理事会社の公募を行ったが、残念ながら申し込みはなかった。現時点では再度募集は行わず、まずは理事監事会社であることのメリットを伝えることができるようになることが必要であるとの結果に至りました。理事会社であることのメリットや強みを発信できるよう今後の活動に取り組んで参ります。
- 県薬務課と連携はできているが、より良いコミュニケーションをとるために期初に協会の担当者一覧をお渡しし、担当者間の連携を深めて参ります。

以 上

